

# 令和2年度活動方針と予算

今年度は、「夢実現をめざして」を掲げて取り組んできた【第二期中期運営計画】(平成28年～令和2年)の最終年度を迎えるため、当該計画を総括するとともに、大きく激動する社会環境の影響を見据えて、わくわく村の将来方向や社会的使命を明らかにした、次期運営計画を策定する重要な年となります。

具体的には、「自立生活を支える支援サービスの充実」を運営の柱に据えて、引き続き ◆組織ガバナンス ◆事業運営の透明性の向上 ◆財務規律の強化 に努めるほか、保護者会と連携して次の事業に取り組みます。

- ① 利用者・保護者会の要望を踏まえゴールデンウィーク期間の**5月6日(祝日)**を特別開所するとともに、炎天下での納涼大会を避けるため、**9月18日(金)**に繰り下げて開催します。
- ② 新規利用者6名を迎え、4事業所6事業120名の利用者のほか、放課後等デイサービス31名の利用者とともに、職員一丸となって安心して安全なサービスに努めます。
  - ア) 強度行動障害や重度化に対応するため、新たに専門的な外部講師の講義と実技を組合せた研修を毎月開催するなど、職員の支援スキルの向上を図ります。
  - イ) 高齢障害者への対応では、40歳以上の機能低下が進行する利用者(約23%)に対して、高齢者にあった生活リズムや作業内容を工夫した就労継続B型事業の検討など、多様なサービスの提供に努めます。
  - ウ) 懸案である短期入所施設の整備は、法人の財政状況やサービスを支える人材確保を基軸に、改めて保護者の意向調査を実施し、利用予測を見極めるとともに、市有地の購入スケジュールなどを考慮して整備時期等を検討します。
  - エ) 支援サービスの質の向上と利用者のサービスの選択や権利等の向上に資するため、「福祉サービス第三者評価」の導入を検討します。

◎4月1日利用者(理事会報告から一部変更)

事業所等	定員 a	契約者数 b	増減 b-a	新規利用者
大原 生活介護	40名	52名	12名	2名
志手原 就労移行	6名	6名	0名	
就労継続B型	14名	16名	2名	
本町 就労継続B型	20名	20名	0名	
すずかけ台 自立訓練	12名	8名	▲4名	2名
就労継続B型	18名	19名	1名	2名

注) 新規利用者数は、支援学校の今春卒業生のみ。事業所間異動は含んでいません。

参与・施設長 長田武彦

## 令和2年度の主な取り組みの柱(各事業所)

### 大原事業所

◎生活介護事業は、定員40名を超える利用者で利用率98%前後。また、障害特性も多岐にわたり、利用者事故が増えています。このため、職員の支援スキルの向上、生活環境の改善、移動時の工夫等に取組み、安全・安心の向上を目指します。



みんなの大好きな音楽療法

◎放課後等デイサービスは、定員10名で利用率80%前後。利用者の確保とともに、個別送迎への対応や事業の差別化が課題です。このため、方面別送迎やOT受療、動作訓練など、専門性の高い支援継続を図ります。



たこ焼き作り

### 志手原事業所

◎就労移行事業は、毎年3名程度が就職し、4月からは6名でスタート。今後も、利用者確保と一人一人の特性に応じた新規の就労定着に努めます。



就職が決まった人を送るお祝い会

◎就労継続支援B型は、利用率100%前後で製菓を中心とした人気ある事業。今後も、利用者のスキルアップと室内外の就労確保、売り上げ向上を目指します。



製菓作業は毎年売上金額が上がっています!

### 本町事業所

◎就労継続支援B型は、今まで利用率85%前後で推移。4月からは利用者増で利用率アップの予定。2割を占める50歳以上の利用者にも配慮しつつ、公園清掃や施設外就労等を中心に取組みます。



紙袋作業



青粒のサンプル貼り作業



夏は暑く冬は寒い公園の清掃作業

### すずかけ台事業所

◎自立訓練は、利用率が90%前後で推移。4月からは4名減となり、年次を分けないグループ支援に切り替えます。



春に植えたさつま芋 沢山収穫しました



室内作業を効率よくしています

◎就労継続支援B型は、利用率85%前後で推移。新年度は定員を超えた利用者を受入れ、施設内外の新規作業の開拓と利用者のスキルに応じた作業の充実に努めます。

## ●運営体制

### ■経営・管理者

- 西田 孝夫 常務理事/志手原事業所管理者事務取扱
- 長田 武彦 参与(施設長理事)/本町事業所管理者事務取扱
- 佐々 孝 事務長/総務課長、すずかけ台事業所管理者事務取扱
- 奥 貞晴 副施設長/支援課長、大原事業所管理者・所長事務取扱

### ■各事業所の管理・監督職(リーダー職以上)

【大原事業所/ 主な事業は、生活介護、放課後デイサービス、相談支援、日中一時支援、福祉有償運送】

- 末次 和恵 総務課副課長/管理栄養士
- 高原 亜理沙 所長補佐/放課後等デイサービス管理者
- 山田 典子 所長補佐/相談支援事業管理者
- 小田 和晃 生活介護リーダー
- 坂本 慶顕 相談支援リーダー

【すずかけ台事業所/ 就労継続支援B型、自立(生活)訓練】

- 久保田 智文 所長補佐
- 石橋 悠吾 就労継続支援B型リーダー

【志手原事業所/ 就労継続支援B型、就労移行支援】

- 田川 みゆき 支援課副課長/所長
- 小田 聖子 就労移行支援リーダー

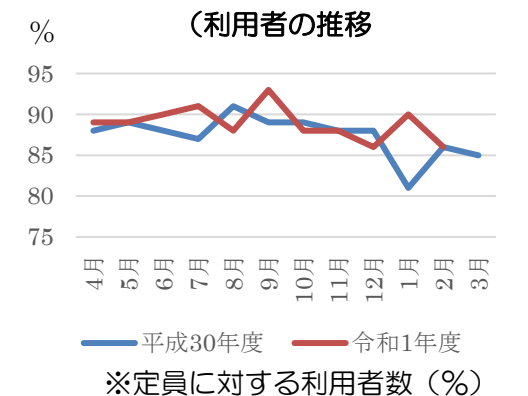
【本町事業所/ 就労継続支援B型】

- 似吹 かおり 所長補佐

## ●令和2年度予算

	R2年度予算	R1年度決算見込比	R1年度決算見込
<b>&lt;事業活動による収支&gt;</b>			
就労支援事業収入	13,838	100%	13,838
障害福祉サービス等事業収入	286,966	103%	278,599
経常経費寄附金収入	300		1,800
その他	66		460
事業活動収入計	301,170	102%	294,697
<b>&lt;事業活動による支出&gt;</b>			
人件費支出	186,004	104%	179,306
事業費支出	29,575	101%	29,203
事務費支出	32,369	102%	31,675
就労支援事業支出	13,838	103%	13,461
その他	13		13
事業活動支出計	261,799	103%	253,658
事業活動資金収支差額	39,371	96%	41,039

(注) 収入の95%は障害福祉サービス等に伴う事業収入です。安定的な経営の為に、利用者の皆様方の一日でも多い利用をお待ちしております。



## サービス向上委員会報告

令和2年2月18日、保護者会から8名、施設から4名が出席して開催しました。主な質問・回答は次の通りです。

Q) GW期間中に特別開所日を設けて欲しい。

A) GWは長期休所となるため、5月6日(祝)を開所します。

Q) 猛暑の中で開催している納涼大会の日時変更や帰路誘導の案内員配置を検討して欲しい。

A) 納涼大会を9月18日(金)に変更し異常気象対策を講じるとともに、開始時間を1時間繰り上げて、比較的明るい時間内の閉会を目指します。なお帰路誘導員の配置は困難です。

Q) 生活介護者の送迎時間を遅くして欲しい。

A) 送迎は、朝と夕方各方面別に10便が運行しています。車両や職員の手配を含めたルート送迎の維持にご協力をお願いします。

Q) 生活介護とB型の中間的な事業所を、できればわくわく村の中で新たに設けて欲しい。

A) わくわく村の生活介護では、他の事業所とは異なり、状況に応じた室内作業に取り組んでおり、既にB型の特色も取り入れています。今後とも、幅広い年齢層や障害特性を踏まえて、将来の在り方等を検討します。

Q) 協力医療機関での健康診断を受診したい。

A) ご希望の方は、総務課から依頼します。受診費用(1万円程度)の負担や付き添いは、各ご家庭にお願いします。

Q) 給食(うどんとおにぎり等)のバランスを考慮して欲しい。

A) 栄養所要量は年齢や性別で3段階に設定し、糖質(ごはんや麺等)の量で調整しています。麺類の時は多くの具を、具が少ない時にはもう一品付けるなど配慮をしています。